

日本格闘空手道無門塾交流試合九州大会規約

世界全極真ジュニアチャンピオンシップ選抜指定大会規約

IBKA ALL Japan CHALLENGE CUP 選抜指定大会規約

【審判基準】

審判員は3審(主審1名 副審2名)にて行う。但し、決勝戦のみ5審(主審1名 副審4名)にて行う。
競技に関する決定は主審の裁決による。主審による裁決が困難な場合、最終決定は審判長に委ねる。

【試合時間】

- 〈幼年〉 予 選(本戦1分→延長1分/マストによる勝敗決定)
決勝戦(本戦1分→延長1分→再延長1分/マストによる勝敗決定)
- 〈小・中学生〉 予 選(本戦1分30秒→延長1分/マストによる勝敗決定)
決勝戦(本戦1分30秒→延長1分→再延長1分/マストによる勝敗決定)
- 〈高校生〉 予 選(本戦2分→延長2分/マストによる勝敗決定)
決勝戦(本戦2分→延長2分→再延長2分/マストによる勝敗決定)

【防 具】

	ヘッドガード	拳サポーター	スネサポーター	ヒザサポーター	ファールカップ	胸ガード
幼 年	各自用意	義務	義務	自由	義務	無し
小学1～2年生女子	各自用意	義務	義務	自由	自由	自由
小学3～6年生女子	各自用意	義務	義務	義務	自由	義務
小学1～2年生男子	各自用意	義務	義務	自由	義務	無し
小学3～6年生男子	各自用意	義務	義務	義務	義務	無し
中学男子	各自用意	義務	義務	義務	義務	無し
中学女子	各自用意	義務	義務	義務	自由	義務
高校生男子	無し	義務	義務	義務	義務	無し
高校生女子	無し	義務	義務	義務	自由	義務

- 女子の胸サポーターは、腹部にかかるものは禁止です。その場合はサポーターを外してもらいます。
- 飛沫対策としてヘッドガードの貸出しは致しません。各参加団体に用意してください。
- 初級はヘッドガード着用です。 中級はヘッドガード着用で面を外します。
- 上級クラスは、ヘッドガードのは着用禁止です。
- ジュニアチャンピオンシップ本戦大会への出場権利は、上級クラス出場者のみとする。
- チャレンジカップ本戦大会への出場権利は、中級クラス出場者のみとする。
- 会場混雑防止の為、選手1名につき会場への入場は付添い2名とさせていただきます。
- 計量は、試合直前に各コートで主審立ち合いの下でおこないます。
- 計量は、1Kg以内のオーバーは減点1で始めます。 1Kgオーバーは失格になります。

【組み手】

試合の勝敗の基準は1本勝ち・判定・反則による失格・試合放棄による勝ちにより決定する。

- ①1本勝ち(技あり2本で1本)
反則箇所を除いて突き・蹴り・肘打ち等を瞬間的に決め、相手を3秒以上ダウンさせるか、相手が試合続行不可能になった場合。
- ②技あり
技が決まり相手の体が瞬間的に崩れた場合、又は戦意を失った場合。
外廻し蹴りは、相手が転倒した場合、大きく体制を崩した場合のみ有効とする。
- ③判定勝ち
時間内に1本勝ちで決まらない場合は双方の技術・気迫の優劣・減点数の多少等により決定する。 判定は旗が過半数以上、上がれば勝ちとする。

【反 則】

- ①拳・肘・貫手・頭突きによる首、顔面への攻撃
- ②上段膝蹴り(高校生のみ可)
- ③ダウンした相手への攻撃
- ④金的蹴り
- ⑤押したり、掴んでの攻撃
- ⑥場外へ逃げた時。(主審の判断に委ねる。)
- ⑦反則は注意が与えられ、注意2で減点1、注意4で失格になります。